

○追加指定されるソマリアに対する武器禁輸措置等に違反した者等

15. マーリム・サルマン (別名: (a) ムアッリム・サルマン、(b) ムアレム・スレイマン、(c) アメール・サルマン、(d) マアッリン・スレイマン、(e) マーリム・サルマン・アリ、(f) マーリム・セルマン・アリ、(g) マアッリン・セルマン、(h) マアッリン・スレイマン)
Maalim Salman (a. k. a. : (a) Mu' alim Salman (b) Mualem Suleiman (c) Ameer Salman (d) Ma' alim Suleiman (e) Maalim Salman Ali (f) Maalim Selman Ali (g) Ma' alim Selman (h) Ma' alin Sulayman)

生年月日: 1979年頃
出生地: ケニア・ナイロビ
活動地域: ソマリア

マーリム・サルマンは、アル・シャバーブ指導者であるアフメド・アブディ・アウ・モハメド (Ahmed Abdi aw-Mohamed) (別名ゴダネ (Godane)) により、アル・シャバーブのアフリカにおける外国人戦闘員の長に指名された。同人は、アフリカにおける外国人戦闘員としてアル・シャバーブに参加しようとする外国人を訓練し、観光客、娯楽施設及び教会を標的としたアフリカにおける作戦に関与してきた。

主にソマリア国外の作戦に注力していたが、サルマンはソマリア国内に居住し、外国人戦闘員を国外に送り出す前にソマリアで訓練することで知られている。アル・シャバーブの外国人戦闘員の中には、ソマリア国内で活動する者もある。例えば、サルマンは、アフリカ連合ソマリア・ミッション (AMISOM) による攻勢に対して、アル・シャバーブの外国人戦闘員をソマリア南部に展開するよう指示した。

他のテロ攻撃の中で、アル・シャバーブは少なくとも67名が死亡する結果となった2013年9月のケニア・ナイロビのウェストゲート・ショッピングモールにおける攻撃に責任がある。さらに最近、アル・シャバーブは、3名の警備員及び2名の民間人が死亡し、15名が負傷した2014年8月31日のモガディシュにおける国家情報治安庁 (National Intelligence and Security Agency) の刑務所に対する攻撃についても犯行を主張している。

16. アフメド・ディリエ (別名: (a) シェイク・アフメド・ウマル・アブ・ウバイダ、(b) シェイク・オマル・アブ・ウバイダハ、(c) シェイク・アフメド・ウマル、(d) シェイク・マハド・オマル・アブディカリム、(e) アブ・ウバイダ、(f) アブ・ディリエ)
Ahmed Diriye (a. k. a. : (a) Sheikh Ahmed Umar Abu Ubaidah (b) Sheikh Omar Abu Ubaidaha (c) Sheikh Ahmed Umar (d) Sheikh Mahad Omar Abdikarim (e) Abu Ubaidah (f) Abu Diriye)

生年月日: 1972年頃
出生地: ソマリア
活動地域: ソマリア

アフメド・ディリエは、国連安全保障理事会決議第七百五十一号 (1992年) 及び同決議第千九百七号 (2009年) に基づく安全保障理事会委員会により制裁対象リストに掲載された個人である前指導者であるアフメド・アブディ・アウ・モハメド (Ahmed Abdi

aw-Mohamed) の死を受けて、アル・シャバーブの新指導者に任命された。これは、2014年9月6日に発表された、アル・シャバーブ報道官であるシェイク・アリ・ディーレ (Sheikh Ali Dheere) の声明において公表された。ディリエは、これまでアル・シャバーブの幹部の一人であり、指導者として、アル・シャバーブの作戦の指揮権を行使してきた。同人は、ソマリアの平和、安全及び安定を引き続き脅かしているアル・シャバーブの活動に直接的な責任を負う。ディリエは、シェイク・アフメド・ウマル・アブ・ウバイダ (Sheikh Ahmed Umar Abu Ubaidah) とのアラビア語の氏名も使用している。